

令和 2 年 度
施 政 方 針



粕 屋 町

1. はじめに

本日、ここに令和2年度の予算案をはじめ、関係諸議案のご審議をお願いするにあたり、町政運営に関する所信の一端を申し上げますとともに、予算案及び重点施策の概要をご説明いたします。

去年は天皇陛下が御即位され、新たな「令和」の時代が幕を開けました。人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つという意味が込められた「令和」が始まり、新しい時代への期待と高揚、それに平穏で豊かな時代の到来を願い、日本列島が祝賀ムードに包まれました。

内閣府の「令和2年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度」によると、我が国の経済は、海外経済の減速等を背景に外需が弱いものの、雇用・所得環境の改善等により、内需を中心に緩やかな回復基調にあるとされています。しかしながら、国内総生産(GDP)の速報値が5四半期ぶりにマイナスになるなど、消費税率引き上げ後の経済動向を引き続き注視するとともに、米中貿易摩擦など通商問題をめぐる動向、不安定な中東情勢、さらに新型コロナウイルスによる国内外の経済等への影響など、海外発の下方リスクによる悪影響も懸念されます。

そのような中、7月には「スポーツには世界と未来を変える力がある。」という大会ビジョンのもと、「全員が自己ベスト」「多様性と調和」「未来への継承」という3つの基本コンセプトを掲げた、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会が 1964 年(昭和 39 年)以来 56 年ぶりに開催されます。

前回開催の東京オリンピック当時、私はまだ小学生でしたが、日本中が熱狂し、興奮し、感動する姿は、高度成長期の高揚した世相も反映され、我々日本人の記憶に深く刻まれています。これからの時代を担うこどもたちにオリンピック・パラリンピックが大きな夢や希望を与えてくれることを期待しています。

国際 NGO「ペシャワール会」現地代表として、戦乱や干ばつで荒廃したアフガニスタンとパキスタンで多くの市民とともに人道・復興支援に尽くされた中村哲医師が昨年 12 月にアフガニスタンで凶弾に倒れ、ご逝去されました。謹んで深く哀悼の意を表します。

中村哲医師は、「一隅(いちぐう)を照らす」という言葉を好んで使われておりました。現代社会は様々な情報にあふれ、つい浅く広く表面的なものになりがちであるが、一人ひとりが今いる場所で精一杯生きること、それが積み重なり、周りの人々や地域と結びつき、結果として未来を良くすることに繋がる、そのような意味があるのではないかと考えています。

令和2年度は第5次粕屋町総合計画前期基本計画の最終年度であります。新しい時代やオリンピック・パラリンピックがもたらす期待感や高揚感を将来のまちづくりに繋げられるよう、施策を一つひとつ着実に実施してまいります。

2. 令和2年度 予算案

それでは、令和2年度の予算案についてご説明いたします。

まず、歳入ですが、根幹となる町税収入は、人口の伸びに伴う納税義務者の増加などにより前年度から増収になると見込んでいますが、臨時財政対策債を含めた地方交付税は、税収の増加などにより減額を見込んでいます。その他、令和元年10月に実施された消費税率の引上げによる地方消費税交付金の大幅な増収を見込み、また、法人住民税法人税割の税率引下げによる減収補てんとして法人事業税交付金が創設されたため、新規に計上しています。

一方、歳出については、障がい者サービス事業費の伸びに伴う社会福祉費の増加や私立保育園の新設、幼児教育・保育の無償化実施に伴う児童福祉費の増加などにより、民生費が前年度に引き続き大幅に増加しています。また、複雑化する業務内容や業務量の増加などへ対応するため、行政サービスの一部を包括的に委託することとしており、総務費が増加しています。

なお、財源不足を補うため、財政調整基金から4億4,200万円の繰入れ

を計上するとともに、ふるさとづくり寄附金の寄附者の意向を反映し、ふるさとづくり基金から 2,530 万円を繰り入れています。

予算規模については、

一 般 会 計	151 億 3,100 万円
特 別 会 計	67 億 5,077 万 4 千円
企 業 会 計	41 億 6,454 万 8 千円
予 算 総 額	260 億 4,632 万 2 千円

となっています。

これは、一般会計が、前年度比プラス 3.7%、5 億 3,400 万円の増で、過去最大の予算規模となりました。特別会計と企業会計を合わせた総額では、前年度比プラス 2.5%、6 億 4,034 万 6 千円の増となります。

厳しい財政状況の中、前年度に引き続き、公約実現のための予算を可能な限り計上するとともに、自然災害対策や待機児童の解消、施設の老朽化への対応など、取り巻く課題の解決に必要な予算を確保する一方で、新たに企業立地対策事業に着手し、産業の振興・雇用の創出により将来の財源確保に繋げるなど、持続可能な財政基盤の確立を図った予算を編成いたしました。

3. 町政運営の方針

それでは、公約に沿って、重点施策の概要についてご説明いたします。

子育てしやすいまちづくり

待機児童解消に向けた保育の受け皿を拡大するため、今秋に定員 120 名の新たな私立認可保育所を酒殿区内に開所いたします。また、3歳未満児の保育需要に対しても積極的に支援を行ってまいります。

住みやすいまちづくり

昨年4月より開始したふれあいバスの土日祝日運行は多くの町民の方々にご利用いただいています。ふれあいバスの利便性をより一層高めるため、長者原駅への乗り入れと、福祉センターからイオンモール福岡へのピストン運行を開始いたします。運転免許証を返納された高齢者の皆様の生活の足として、また、町民の皆様が公共交通機関をご利用いただくことで脱炭素化社会の実現を目指して取り組みます。

本町には6つの JR の駅があり、交通の利便性の高さは町の魅力であり、強みであると考えています。令和2年度より長者原、酒殿の駅前整備を行い、駅やふれあいバスの利便性向上を図ります。

誇れるまちづくり

町のランドマークである駕与丁公園の再生に取り組みます。民間事業者へ行った「駕与丁公園魅力向上のアンケート」結果を基に、公園の有効な活用方法について、民間事業者から広く意見や提案を求め、駕与丁公園のさらなる魅力向上を図ります。

安心して生活できるまちづくり

全国のため池の多くは老朽化が進行し、近年、局地的な大雨や大規模な地震の発生などにより、被害が各地で発生しています。ため池の適正な管理や緊急時の情報伝達を的確に実施するため、町が管理するため池の耐震診断を実施し、ため池ハザードマップの作成を行います。

地域の皆様と一緒に子どもたちを見守る、新しい形の見守りサービスを導入します。IoT^{※1}を活用した先端システムと地域の協力を組み合わせることで、「ながら防犯^{※2}」活動を促進し、多様な担い手による地域の防犯力向上に取り組みます。令和2年度は通学路を中心に見守り拠点を整備します。

※1 IoT：Internet of Things の略で「モノのインターネット」と訳される。家電や自動車といった「モノ」をインターネットに接続する技術。

※2 **ながら防犯**：「仕事」「通勤・通学」「買い物」「ジョギング」「犬の散歩」などの日常の生活行動の中に防犯の視点を取り入れて行動しながら地域の「異変」「異常」「危険個所」に気づき、犯罪を未然に防ぐ一連の行動。

次に、第5次粕屋町総合計画に掲げる4つのまちづくり基本目標に沿って、主要な事務事業の内容を申し上げます。令和2年度は合計 159 の事務事業の実施を予定しています。

[基本目標1] つながりと交流を深め、心豊かな人を育む協働のまち

令和2年度は予算額 27 億 2 万 2 千円を計上し、44 事務事業の実施を予定しています。

- 6月は梅雨前線や低気圧などの影響で、大雨や短時間に激しい雨が降るなど、土砂災害や河川の洪水など多くの災害が起きやすい時期です。6月を防災月間として、町民の皆様の防災意識の向上に努め、防災・減災に向けた取組を促進します。

- 子どもたちが、安全・安心かつ快適に学習できる環境をつくるために、老朽化した校舎の改修や増築を計画的に実施していく必要があります。昨年度に引き続き、仲原小学校において大規模改造工事を行います。また、安全で安心な学校施設を維持するため、粕屋東中学校においてコンクリートブロック塀の改修工事を行います。

- 阿恵官衙(あえかんが)遺跡が町内で初めて国史跡に指定されます。
文化財は郷土の歴史を知る貴重な財産であり、その理解を深めていただくため、1月に記念シンポジウムを開催します。
また、若い世代にも郷土への関心と誇りを持っていただくために歴史教育用の副読本を刊行します。

[基本目標2] 都市と自然が調和し、快適に暮らせる活力あるまち

令和2年度は予算額 33 億 2,887 万 4 千円を計上し、35 事務事業の実施を予定しています。

- 道路は町民に最も密接した地域の生活基盤であり、景観形成、環境、防災対策など様々な機能も求められています。安全で快適な道路環境を確保するため、老朽化した内橋・大隈線の道路舗装修繕工事を行います。
- 水道事業者として、町民の皆さまに安全・安心で良質な水を安定供給する必要があります。配水池は浄水場から送られた浄水を貯留し、家庭や事業所に配水する施設です。給水人口の増加及び地震等の災害に備え、新たに耐震性の高い粕屋南配水池2号池を築造します。

- 水害の防止のため、準用河川に指定予定の南里水路の整備計画を策定し、計画に沿った改修工事や浚渫を実施していきます。

[基本目標3] 誰もが安心して幸せに暮らせるやすらぎのまち

令和2年度は予算額 132 億 4,963 万 3 千円を計上し、48 事務事業の実施を予定しています。

- 健康寿命を伸ばすためには、まずは健康診断を受診していただき、ご自身の健康状態を確認し、健康づくりに繋げていくことが重要です。いつでもどこでもインターネットで予約ができる、健診予約システムを導入することで、受診率の向上に取り組めます。
- 人手不足が深刻になる中、将来の住民サービスを維持していくため、人間の職員でなくてもできる事務作業は AI^{※3}や RPA^{※4}を活用して自動化する「スマート自治体」への転換を図る必要があります。最初に保育所の利用申込書の入力作業について自動化を進めます。

※3 AI : Artificial Intelligence の略で人工知能。人間の知的能力をコンピュータ上で実現する様々な技術。

※4 RPA : Robotic Process Automation の略で、パソコンの中にあるソフトウェア型のロボットが代行・自動化する技術。

- 社会的に増加の兆しが見られる小児・AYA 世代^{※5}(思春期・若年成人)のがん患者が住み慣れた自宅で最後まで安心して生活を送ることができるよう、在宅療養サービスに関わる利用料を助成します。

[基本目標4] 健全で持続可能な行政経営をめざすまち

令和2年度は予算額 12 億 2,901 万 5 千円を計上し、32 事務事業の実施を予定しています。

- 令和3年度から始まる総合計画後期基本計画の策定にむけて、SDGs^{※6}をテーマにした「かすや未来カフェ」を実施し、10 月には「総合計画策定シンポジウム」を開催します。幅広い世代の多くの町民の皆様、これからのまちづくりについて大いに語り合ってください、SDGs について知ってもらう機会にしたいと考えております。
- 福岡県が行うマッチング事業または起業支援事業と連携し、東京圏から移住し就業または起業しようとする方が、定着に至った場合に福岡県と居住地の市町村が共同して移住支援金を給付する事業を始めます。

^{※5} AYA 世代 : Adolescent and Young Adult (思春期・若年成人)の略で、概ね 15 歳から 40 歳未満の世代を指す。

^{※6} SDGs : Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)の略で、2015 年の国連サミットにおいて採択されたものであり、貧困や飢餓、さらには気候変動や平和など広範な分野にわたって 17 の目標が設定されている。

- 2020 年は日本国内に住むすべての人と世帯を対象とした5年に1度の国勢調査の年です。インターネット回答を促進し、回答者の負担軽減・利便性の向上を図るとともに、調査の正確性の確保と統計調査業務の効率化を図ります。

以上、令和2年度の町政運営の方針を申し述べました。

4. おわりに

私は今、国の内外を問わず社会が新たな時代に変化していることを強く感じています。

町民の皆様が将来に向けて夢や希望を抱き、10年先、20年先も、幸福感を実感できるまちづくりを目指していきたいと考えています。

町民の皆様、そして、ここにお集まりの議員の皆様におかれましては、なお一層のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げまして、令和2年度の施政方針とさせていただきます。

令和2年2月

粕屋町長 箱田 彰